

# メールアドレス指定受信機能

## 目次

はじめに必ずお読みください	2
設定の前に理解しておくこと	3
操作説明	5
迷惑メールなど、特定のアドレスからのメールのみを受信拒否する例	8
知人・友人などメールアドレスが分かっている人からのメールのみ受信する例	9
迷惑メール対策で、おすすめの設定例	10

## はじめに必ずお読みください

この機能はメールがサーバに到着した時点で、そのメールをサーバの受信ボックスから削除するものです。削除したメールは、ユーザーがメール受信操作を行っても受信されなくなります。このようにメールをサーバの受信ボックスから削除することを**受信拒否**とします。

### 受信拒否の2つの原則

この機能では、受信拒否の設定のために2つの原則があり、どちらかを選択します。

#### (1) 原則としてメールを受信する方法

この場合は、受信拒否するメールアドレスを設定します。設定していないメールアドレスのメールは受信されます。

#### (2) 原則としてメールを受信拒否する方法

この場合は、受信するメールアドレスを設定します。設定していないメールアドレスのメールは受信拒否されます。何も設定しなければ、全てのメールが受信拒否されます。

### サーバが受信したメールが設定条件に該当するかどうかの「処理順位」

受信したメールが処理対象かどうかの設定は、最大 200 個まで設定できます。設定にあたっては処理順位に注意する必要があります。処理順位の高位（設定画面の上）の設定から順に処理していき、条件に一致した段階で、受信拒否または受信の処理が行われます。このため、それより下位の処理順位の設定は処理されません。

どの設定にも該当しなかった場合は、原則にしたがって受信拒否または受信の処理が行われます。（処理順位については、操作説明のページもお読みください）

### 受信拒否したメールは、サーバの受信ボックスから削除されるだけ

受信拒否の対象となったメールは、サーバの受信ボックスから削除されますが、それ以外の処理は行いません。すなわち、送信者に対して受信拒否されたことの通知は行われません。

### 設定ミスにご注意ください

設定ミスにより大切なメールが受信拒否されてしまうことがあります。ご利用に際しては十分ご注意ください。なお、当ネットではこの機能のご利用により生じた事由に対して、一切の責を負いませんのでご了承ください。

### 受信メールで検査されるのは

この機能は、受信したメールの差出人 (From: )を検査します。迷惑メールの中には、差出人 (From: )を詐称したものがありますが、その場合は処理対象ではなくなりますのでご了承ください。また、当社からのメール (magicalsite.co.jp )は設定にかかわらず受信されます。

## 設定の前に理解しておくこと

具体的な操作説明の前に、以下の2つをご理解ください。

### (1) メールアドレスはまとめて記述することができます。

メールアドレスの形式は一般的に abc@aaa.bbb.ccc.ddd のようになっています。

abc の部分をアカウントともいいます。

aaa や bbb がない形式のメールアドレスもあります。

#### A. 完全な形式で指定する方法

abc@aaa.bbb.ccc.ddd のように、完全なメールアドレスを指定します。

#### B. 後ろから一致する形式で指定する方法

たとえば、aaa.bbb.ccc.ddd と指定すると、@の左側が何であっても対象となります。

また、ddd と指定すると、ddd の左側が何であっても対象となります。

指定は「@」か「.」で区切られた単位の文字列で指定します。また、途中の文字列で指定することはできません。

abc@aaa.bbb.ccc.ddd 完全なメールアドレス

aaa.bbb.ccc.ddd aaa.bbb.ccc.ddd で終わるメールアドレス全て

bbb.ccc.ddd bbb.ccc.ddd で終わるメールアドレス全て

ccc.ddd ccc.ddd で終わるメールアドレス全て

ddd ddd で終わるメールアドレス全て

### (2) 処理順位にご注意ください。

処理順位は、設定の上で非常に大切な項目です。処理順位を間違えると、思っていたのと逆の処理が行われてしまうこともあります。

この機能では、サーバに到着したメールは、処理順位の上位から順に、設定した条件に一致しているかどうかを検査し、一致しているときはそれより下位の処理順位の設定は処理されません。なお、どの設定にも該当しない場合は、原則にしたがって受信拒否または受信の処理が行われます。

例えば、原則として受信拒否(受信するメールアドレスを設定する)の場合で、以下のように設定したとします。

処理順位	メールアドレス
1	bb
	(例外)aaa.bb
2	abc@aaa.bb

この場合、処理順位 2 の abc@aaa.bb からのメールは「受信」の設定となっていますが、実際にはそれより上位の処理順位 1 の例外で設定している aaa.bb と一致するため、ここで処理が行われ

てしまいます。これは例外扱いの処理なので「受信拒否」となり、意図した設定とは違った処理になってしまいます。

具体的には、先ほどの例の場合、この機能では次のように処理が行われます。

abc@aaa.bb と処理順位 1 の設定を検査する。・・後ろの bb が一致するので該当と判断

該当なので処理順位 1 の例外の検査をする。後ろの aaa.bb が一致するので該当と判断

abc@aaa.bb は処理順位 1 の例外であると判断されるので「受信拒否」で処理（完了）  
（処理が完了したので処理順位 2 以降の検査は行われません。）

なお、この例では、次の設定が正しい設定になります。

処理順位	メールアドレス
1	abc@aaa.bb
2	bb
	(例外)aaa.bb

この設定では、最初に abc@aaa.bb からのメールは「受信」の設定をしているので、これより下位の設定にかかわらず「受信」され、意図した設定と同じに処理されます。

このように、メールアドレスの後方（この例では bb）が同じアドレスを複数設定するときには、処理順位に十分注意してください。

### (3) 設定できるメールアドレスは最大 200 個です。

例外で設定するメールアドレスを含め、設定できるメールアドレスは最大で 200 個です。

### (4) メールアドレスを調べる

Outlook Express では、メールの送信者の名前だけが表示され、メールアドレスが表示されないときがあります。そのときは、受信トレイのメール一覧で、該当のメールを「右」クリックして「プロパティ」を選んでください。

"メール送信者名"<abc@aaa.bbb.cc> の形式で表示されている< >の中がメール送信者のアドレスです。

## 操作説明

### (1) 最初の設定

この機能を最初に使うときは、ログイン後に以下の画面が表示されます。

- A. メールアドレス指定受信機能設定を「有効」にしてください。
- B. 「どちらかを選択」で原則を指定してください。
  - 以下で設定したアドレス以外はすべて受信する。  
原則として受信します。受信拒否するメールアドレスを下の欄に入力します。
  - 以下で設定したアドレス以外はすべて受信拒否する。  
原則として受信拒否します。受信するメールアドレスを下の欄に入力します。
- C. 受信拒否、または受信するメールアドレスがあるときは、メールアドレス欄に入力し「追加」をクリックします。  
(これ以降の操作は、次の (2) 設定の追加と変更 と同じです。)

### (2) 設定の追加と変更

設定済みの場合は、ログイン後に次ページのような画面が表示されます。

(初めて設定するときは(1) 最初の設定にあるように「新規追加」の行だけが表示されています。)

最も下の処理順位に新しいメールアドレスを追加するときは、黄色の「新規追加」の行に追加するメールアドレスを入力して「追加」をクリックします。

その他のボタンの役割は次ページの通りです。

メールアドレス指定受信機能設定 ● 有効 ● 停止

どちらかを選択

以下で設定したアドレス以外はすべて受信する。

以下で設定したアドレス以外はすべて受信拒否する。

処理順位	有効/無効	メールアドレス	例外	追加
1	<input checked="" type="checkbox"/>	aaa.bb.cc	<input type="button" value="例外を追加"/>	<input type="button" value="新しい設定をこの上に追加"/> <input type="button" value="この設定を削除"/>
例外	<input checked="" type="checkbox"/>	abc@aaa.bb.cc	<input type="button" value="この例外を削除"/>	
新規追加		<input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>		新しい条件をこの下に追加

**テスト**

上の設定で、下に入力した(完全な形式の)メールアドレスが受信されるか受信拒否されるかをテストできます。

メールアドレス   判定:

このボタンをクリックするまでは、設定は保存されません。  
設定完了後は、必ずこのボタンをクリックして、設定を保存してください。

### 新しい設定をこの上に追加

このボタンがある一つ上の行(一つ上位の処理順位)に、新しくメールアドレスを追加する画面に変化します。その画面でメールアドレスを入力して「追加」をクリックしてください。間違えてクリックした場合は、何も入力せずに「追加」をクリックすると元の画面に戻ります。

### この設定を削除

このボタンがある行のメールアドレスと、それに対する例外を削除します。

### 例外を追加

このボタンがある行で設定されているメールアドレスに対する例外のメールアドレスを追加する画面に変化します。その画面で例外のメールアドレスを入力して「追加」をクリックしてください。間違えてクリックした場合は、何も入力せずに「追加」をクリックすると元の画面に戻ります。

### この例外を削除

このボタンがある行の例外のメールアドレスを削除します。

#### 例外とは

逆の処理を行うメールアドレスのことです。例えば、メールアドレス jp を「受信」で設定したが、その中に含まれる yahoo.co.jp は「受信拒否」する場合に、これを例外として設定します。

設定が終わったら画面最下部の「上記の内容で保存する」をクリックします。クリックした時点で、メールの受信/受信拒否の機能設定内容が変更され、実行が開始されます。また、このボタンをクリックするまでは、設定した内容は保存されません。

## その他の機能

### 有効/無効

一時的にその、メールアドレスを処理対象から外したいときは、その行の **有効/無効** 欄のチェックを外してください。画面下部の **全てを「有効」にする** **全てを「無効」にする** ボタンで、全ての行の **有効/無効** のチェックを入れたり外したりできます。

### テスト

必要に応じて、設定した条件でテストを行うことができます。

ページ下部の **テスト** 欄で、テストしたいメールアドレス (完全な形式) を入力して **テスト実行** をクリックしてください。

### 機能の停止

一時的にこの機能を停止したいときは、メールアドレス指定受信機能設定を **無効** にしてください。

いずれも、設定が終わったら画面最下部の **上記の内容で保存する** をクリックしてください。

### 設定操作を途中でやめる、またはやり直すには

ブラウザを閉じてください。**上記の内容で保存する** をクリックしなければ、設定内容は変更されません。やり直す場合は、再度設定画面にアクセスしてください。

## 迷惑メールなど、特定のアドレスからのメールのみを受信拒否する例

迷惑メールの多くはフリーメールなど、特定のメールアドレスから送信されることが多く、これらのアドレスを設定しておくことで、迷惑メールの受信を拒否することができます。しかし、フリーメールを使っている友人からのメールは受信したいこともあります。このような場合には、以下の設定が有効です。(以下の例はあくまで参考例ですので、そのまま設定しないようにしてください。)

(1)迷惑メールの送信元のメールアドレスを調べてください。

迷惑メールの送信元のメールアドレスで多いものは、以下のようになります。

yahoo.co.jp hotmail.com hotmail.co.jp で終わるメールアドレスなどのフリーメール  
com net to で終わるメールアドレスなど、海外からのメール

(2)受信拒否対象のメールアドレスを使っている人の中で、知人など受信拒否にならないようにしたいメールアドレスをピックアップします。

Aさん asan@yuujin.com

Bさん bsan@hotmail.com

(3)上記の場合の設定方法

どちらかを選択		以下で設定したアドレス以外はすべて受信する。
		以下で設定したアドレス以外はすべて受信拒否する。
処理順序	有効/無効	メールアドレス
1	チェックする	yahoo.co.jp
2	チェックする	hotmail.com
	チェックする	【例外】bsan@hotmail.com
3	チェックする	hotmail.co.jp
4	チェックする	com
	チェックする	【例外】asan@yuujin.com
5	チェックする	net
6	チェックする	to

ネットショッピングやネットオークションなどを利用するときに送信されてくるメールで、そのメールアドレスが分からないときは、この機能で受信拒否されないように、一時的にこの機能を停止します。(機能を停止すると、全てのメールを受信します。)

> 「メールアドレス指定受信機能設定」で「停止」を選択します。

そのメールアドレスが、受信拒否に該当する場合は、相当する行より下の行に、そのメールアドレスを入力して「例外」にチェックをいれます。



## 知人・友人などメールアドレスが分かっている人からのメールのみ受信する例

2つ以上のメールアドレスを持っていて、そのうちのひとつを知人、友人、家族、同僚などとの連絡専用で使用する場合などに有効な設定方法です。(以下の例はあくまで参考例ですので、そのまま設定しないようにしてください。)

(1) 受信するメールアドレスを調べてください。

Aさん asan@example1.ne.jp

Bさん bsan@example2.ne.jp

Cさん csab@example3.co.jp

勤務先からのメール example4.co.jp

普段利用しているショッピングサイトからのメール example5.com

(2) 上記の場合の設定方法

どちらかを選択		以下で設定したアドレス以外はすべて受信する。
		以下で設定したアドレス以外はすべて受信拒否する。
処理順序	有効/無効	メールアドレス
1	チェックする	asan@example1.ne.jp
2	チェックする	bsan@example2.ne.jp
3	チェックする	csab@example3.co.jp
4	チェックする	example4.co.jp
5	チェックする	example5.com

## 迷惑メール対策で、おすすめの設定例

迷惑メール対策では、以下の設定方法がおすすめです。ただし、あくまで参考としてご利用ください。そのまま利用すると、大切なメールが受信拒否されてしまうことがあります。

- (1) .jp で終わるメールアドレス (日本からのメール) のみを受信します。  
 (注) .jp 以外で終わるメールアドレスでも、日本からのメールの場合があります。
- (2) (1)のうち、迷惑メールの発信元が多い、以下のメールは受信拒否します。  
 yahoo.co.jp ybb.ne.jp goo.ne.jp infoseek.jp hotmail.co.jp
- (3) (1)と(2)で受信拒否されるメールのうち、友人知人や、普段利用しているサイトなど、受信する必要があるメールは受信します。

Aさん asan@yahoo.co.jp  
 Bさん bsan@hotmail.com  
 C社 csya.com

- (4) 上記の場合の設定方法

どちらかを選択		以下で設定したアドレス以外はすべて受信する。
		以下で設定したアドレス以外はすべて受信拒否する。
処理順序	有効/無効	メールアドレス
1	チェックする	asan@yahoo.co.jp *1 で例外の設定をしているので、それより先上の行に入力する
2	チェックする	jp
	チェックする	【例外】yahoo.co.jp *1
	チェックする	【例外】ybb.ne.jp
	チェックする	【例外】goo.ne.jp
	チェックする	【例外】infoseek.jp
	チェックする	【例外】hotmail.co.jp
3	チェックする	bsan@hotmail.com
4	チェックする	csya.com

ネットショッピングやネットオークションなどを利用するときに送信されてくるメールで、そのメールアドレスが分からないときは、この機能で受信拒否されないように、一時的にこの機能を停止します。(機能を停止すると、全てのメールを受信します。)

> 「メールアドレス指定受信機能設定」で「停止」を選択します。

そのメールアドレスが、(3)に該当する場合は、そのメールアドレスを処理順序高位に追加入力します。